

会 議 録

1 会議名	平成21年度第8回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成22年3月18日(木) 午後2時00分～ 4時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】江連俊, 太田正, 江連功, 小野久男, 柏木聖子, 神山光男, 北見幸夫, 柴田征男, 鈴木幸男, 手塚道子, 福島照喜, 和田春海, 櫻井清一, 佐藤きよ子, 藤井直和</p> <p>【事務局】上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】1名</p> <p>【記者】1名</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 合併市町村基本計画の執行状況</p> <p>(1) 平成21年度の執行状況について</p> <p>(2) 実施計画の概要及び当初予算案の大綱について</p> <p>3 地域のまちづくりに関する施策の提案</p> <p>(1) 平成22年度上河内自治会議のスケジュールについて</p> <p>(2) 提案書の作成について</p> <p>(3) グループ協議について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

1 開会	
第8回宇都宮市上河内自治会議開会	
2 合併市町村基本計画の執行状況	
(1) 平成21年度の執行状況について	
(2) 実施計画の概要及び当初予算案の大綱について	
会 長	・はじめに次第2の「合併市町村基本計画の執行状況」について, 事務局から説明願う。
事務局	・(1)の平成21年度の執行状況について (平成21年度の「合併市町村基本計画の執行状況」について説明する)

	<ul style="list-style-type: none"> <p>・道路新設改良事業</p> <p>道路新設改良事業については、旧町の継続事業を優先的に整備し、効果などを見極めながら推進する。</p> <p>・スマート I C 恒久設置事業</p> <p>スマート I C 恒久設置事業については、上り線接続道路（市道 13370 号線）を栃木県で、下り線接続道路（市道 13371 号線）を宇都宮市で整備し、平成 21 年度内の工事完了を目指している。</p> <p>宇都宮市整備分については、国庫補助事業を導入して事業を進め、計画的に整備していく。</p> <p>・上水道事業統合整備</p> <p>上水道事業統合整備については、平成 21 年度に拡張事業計画を策定した中で調査検討を行った。今後は事業計画に基づき統合整備を進める。</p> <p>・公共下水道整備事業</p> <p>公共下水道整備事業については、平成 21 年 3 月に公共下水道全体計画の見直しを行い、併せて事業認可を変更した。今後は、変更した事業認可区域内の整備を進めるため、事業の優先度や効果等を精査した上で、実施計画に基づき計画的に進めていく。</p> <p>・児童の健全育成環境の整備</p> <p>児童の健全育成環境の整備について、本市では、幅広い児童の健全育成を推進するための拠点施設として「子どもの家」事業を展開しており、既存の「留守家庭児童会」については、条件の整ったところから順次、「子どもの家」への移行を進めている。</p> <p>上河内地域においては、平成 20 年度に上河内中央小・上河内西小区域で「子どもの家」事業を開始したところであるが、上河内東小区域においては、施設の老朽化や通所時における児童の安全性など、喫緊の課題に対応する必要があったことから、まず、昨年 7 月に学校敷地内既存施設への移転を優先して行ったところである。こうしたことから、同児童会の「子どもの家」への移行については、地域の意向等を踏まえ、より緊密な連携を図りながら、今後、取り組んでいく。</p>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <p>・中学校校舎整備事業, 中学校体育館整備事業</p> <p>中学校校舎整備事業, 中学校体育館整備事業については。耐震化については, 市耐震改修促進計画において平成27年度までに学校施設の耐震化を完了することとしている。</p> <p>また, 武道場は, 体育の授業や部活動など教育上必要なものであるため, 未設置の学校に設置し公平な教育環境を確保していく。</p> <p>・生涯学習センター整備事業</p> <p>上河内生涯学習センター整備については, 利用者が安全かつ快適に利用できるよう, 老朽化の度合いなどを見極めながら, 生涯学習とまちづくりの一体化も見据え, 施設に必要な機能, 規模等について関係部局等と連携を図りながら検討していく。</p> <p>上河内体育館については, 耐震診断により, 一部に補強が必要であるという結果が出ているが, 改修の緊急性を踏まえ, 当分の間, 必要最小限の改修を行うこととしている。</p> <p>・中里原土地区画整理事業</p> <p>中里原土地区画整理事業については, 宇都宮市の北部地区の一端を担う地区として, 宅地としての利用増進を図り, 良好な環境を有するまちづくりを行うため, 事業を実施していく。</p> <p>また, 平成22年度中の工事完了を目指している。</p> <p>・農産物直売所等整備事業</p> <p>地域の農産物直売所については, 旬の新鮮な農産物が手に入るなど消費者に好評であり, また, 生産者のやりがいや生きがいづくり, 世代間の交流, 技術情報の交換の場となることから, これまで, 市民が新たに農産物直売所を整備する場合, 市は諸手続きの指導を行ってきたところである。また, 大型直売所の整備について, 現在, JAうつのみやと連携しながら, その必要性を含め整備の方向性を整理しているところであり, 全市的な観点から検討を進めていく。</p> <p>・農道整備事業</p> <p>農道整備については, 毎年度, 一定の額を予算化し, 全市域を計画的に整備しており, 今後も順次整備していく。</p>
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・林道整備事業 林道の整備については、林道矢白線が整備され、また、東北自動車道にかかる林道高架橋3橋について、工事終了となったことから今後は、林道パトロールや現地調査を通して、維持補修を実施していくこととなる。 <p>以上で「合併市町村基本計画の執行状況」について説明を終了する。 (説明後、各事業に対する意見票の記入を委員へ依頼する)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(2)の実施計画の概要及び当初予算案の大綱について (平成22年度から平成24年度までの宇都宮市の実施計画の概要と、平成22年度の宇都宮市の当初予算案の大綱について説明する)
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまの説明について、各委員から意見を求める。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健全育成環境の整備について、平成22年度には子どもの家に移行となっていたと思うが、昨年より一歩後退しているのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は平成22年度以降の予定として記載している。 また、現状では財政的に当分の間は未定である。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業統合整備の松風台の専用水道については、給水区域編入を計画的に進めるとあるが、専用水道業者及び自治会との接触を積極的に行っていただきたい。 また、生涯学習センターは、合併時に新築ということで説明があった。しかし、一貫して新築はないという内容であるため、現在の生涯学習センターをどのように変えようとしているのか具体的に示していただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターについては、生涯学習機能とコミュニティ機能を一体化するというのが市の考え方であり、上河内も全市的な整備方針を踏まえた上で検討していくことになる。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターは、平成22年度以降は取り壊して自治センターの中に移されるという噂がある。そういった内容が一人歩きして自治会議に影響を及ぼすことのないようにしていただきたい。 また、ひばり館も生涯学習センター整備の考えの中に加えられるとすれば、当然、取り壊しという話も出てくるのではないか。 児童の健全育成環境の整備については、将来、学校敷地内の別の場所に東小の留守家庭児童会が子どもの家に移行すると理解しているが、

	はっきりと回答していただきたい。
会 長	・まず、自治会議で議論していくスタートラインを明確にしないと、混乱してしまう。
事務局	・合併市町村基本計画に位置づけられた事業は、10年間にこの地域のまちづくりに必要な事業として定めた。合併時、既に着手されていた事業は引き続き実施されており、はっきりしていないものについては10年間のうちにやっていくものである。 また、生涯学習センターについては市の中心市街地が4月から生涯学習とコミュニティ機能を一緒にし、「ひとづくり」と「まちづくり」を一体的に進めているところであり、上河内と河内については今後検討することになる。
会 長	・意見票は3つに分類してあるが、計画的に進められている事業は、実施計画に載せられ予算が計上されているという理解であり、検討段階にある事業は、具体的にどう整備するのか、今後、検討していくという理解でよろしいか。
事務局	・そういうことである。
委 員	・上河内体育館の現在の利用状況はどうなっているのか。 道路新設改良事業で13125号線の消防学校から延びる道が、どうして東金田あたりでクランクになっているのか。
事務局	・13125号線については、このように曲げることによって、現在、横にある県道とつなげることで迂回路として使用することができるためと聞いている。 また、体育館の利用状況については、後日、報告させていただく。
委 員	・農道整備事業について、芦沼上田線を新幹線の下までつなげていただきたい。 また、平成22年度に整備される農道はどこなのか。
事務局	・農道については、そういった意見を答申の際の意見としていただければと思う。 また、平成22年度に整備する予定の路線名までは明確ではない。
会 長	・合併市町村基本計画の執行状況について、意見票の中で、検討段階にある事業については、「どうしていくべきか」を記載していただきたい。 そして、取りまとめた意見について、第1回の自治会議で議論していく。

<p>3 地域のまちづくりに関する施策の提案</p> <p>(1) 平成22年度上河内自治会議のスケジュールについて</p> <p>(2) 提案書の作成について</p> <p>(3) グループ協議について</p>	
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・次に次第3の「地域のまちづくりに関する施策の提案」について，事務局から説明願う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)の平成22年度上河内自治会議のスケジュールについて (平成22年度のスケジュールに沿って地域のまちづくりに関する施策の提案を提出するまでの流れを説明する)
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール(案)については，あくまで流れであり，何をやっていくかについては，別途4月に示していただく。 また，来年度は提案書づくりにウエイトを置くかたちで今後の自治会議を進めていく。その際にグループを編成したうえで提案書をまとめていくことになる。 ・ただいまの説明について，各委員から意見を求める。
全委員	(意見・質問なし)
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは，(2)の提案書の作成についてと(3)のグループ協議について事務局から説明願う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・(2)の提案書の作成について (前回の提案内容を活かした提案書の作成方法について説明する) ・(3)のグループ協議について (グループ編成を行ってグループ協議を行う際の事務局(案)を説明する)
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書の作成については，考え方を示したものであり，こういったものをグループでやっていくことになるが，前回の提案でイメージが湧かない部分を，現状を踏まえながら今の状態がどうなっていて，それが10年後どう変化していくのか，変化に対してどうすれば住みやすいまちになるのかを検討していく。 また，前回の事務局の資料には地域力というものがあったが，行政まかせでは何も始まらないので，住民自体が地域の中でどういう取り組みを進めていくかに係ってくる。それがあって初めて行政との協働が生まれるわけで，そういう点では担い手という地域力をどのようにつくっていくのか，それをどう後世につなげていくのが重要であり，

	<p>そういったところも大きなテーマのひとつである。こうした観点からまちづくり協議会と連動していくことになる。</p> <p>・ただいまの説明について、各委員から意見を求める。</p>
全委員	(意見・質問なし)
4 その他	
会 長	・次第4の「その他」について、各委員から意見を求める。
全委員	(意見・質問なし)
会 長	・事務局から何かあるか。
事務局	・平成22年度の第1回自治会議は4月を予定している。詳しい日程が決まり次第、通知させていただく。
会 長	・以上で、第8回宇都宮市上河内自治会議を終了する。